イエスと弟子たち②

シリーズ～新イエス～
2025/6/29

イエスが出会った人たち

• 家族

- ヨセフ・マリア・兄弟

• 弟子たち

- シモン・アンデレ・ヤコブ・ヨハネ・フィリポ・ユダ…
- 付き従った女性たち

• 病人と関係者たち

- ほとんど名前は記録されていない

• 敵たち

- 律法学者・ファリサイ派・祭司長・長老・サドカイ派

• その他

イエスが集めた弟子たち

- 公生涯のはじめから弟子を集めた
 - 普通は有名になってからするものだが…
- 師であるイエスの方からリクルートした
 - 普通は弟子の方から「弟子入り」を志願するが…
- 個性的であまり優秀とは言えない弟子たち
 - ガリラヤ湖の漁師・徴税人・熱心党員(過激派)…
- 中でも十二人を選んで「使徒」と名付けられた
 - 「使徒」とは“遣わされた者”の意
 - 明らかにイスラエルの十二部族を意識している
 - 新しい神の民の“族長”のイメージ

弟子のリーダー的存在だったペトロ

- 「ペトロ」はイエスがつけたニックネーム
 - もともと「シモン(葦)」という名前だが、イエスはなぜか「ペトロ(岩)」と呼ばれた
- 「岩」には似つかわしくない粗忽者
 - イエスが湖の上を歩いておられるのを見て歩き始めるが「強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので『主よ、助けてください』と叫んだ」(マタイ14:30)
 - イエスを「あなたはメシア、生ける神の子です」と告白して褒められるが、受難の予告を聞いて師をいさめはじめたので、「サタン、引き下がれ」と叱られる(マタイ16章)
 - 変貌山では三人のために「仮小屋」(礼拝所)を建てましょう、と言った

イエスによる予告

イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたは皆わたしにつまずく。『わたしは羊飼いを打つ。すると、羊は散ってしまう』と書いてあるからだ。しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」するとペトロが、「**たとえ、みんながつまずいても、わたしはつまずきません**」と言った。イエスは言われた。「**はっきり言っておくが、あなたは、今日、今夜、鶏が二度鳴く前に、三度わたしのことを知らないと言うだろう。**」ペトロは力を込めて言い張った。「**たとえ、御一緒に死なねばならなくなっても、あなたのことを知らないなどとは決して申しません。**」皆の者も同じように言った。（マルコ14:27-31）

大祭司の屋敷に行ったペトロ

- イエスが捕らえられると逃げた弟子たち

- 「人々は、イエスに手をかけて捕らえた。… 弟子たちは皆、**イエスを見捨てて逃げてしまった。**」

14:46,50

- 隠れていイエスの様子を見に行ったペトロ

- 「人々は、イエスを大祭司のところへ連れて行った。祭司長、長老、律法学者たちが皆、集まって来た。ペトロは遠く離れてイエスに従い、大祭司の屋敷の中庭まで入って、下役たちと一緒に座って、火にあたっていた。」14:53-54

予告通りに

ペトロが下の中庭にいたとき、大祭司に仕える女中の一人が来て、ペトロが火にあたっているのを目にすると、じっと見つめて言った。「あなたも、あのナザレのイエスと一緒にいた。」しかし、ペトロは打ち消して、「**あなたが何のことを言っているのか、わたしには分からないし、見当もつかない**」と言った。そして、出口の方へ出て行くと、**鶏が鳴いた**。女中はペトロを見て、周りの人々に、「この人は、あの人たちの仲間です」とまた言いだした。**ペトロは、再び打ち消した。**

予告通りに

ペトロが下の中庭にいたとき、大祭司に仕える女中の一人が来て、ペトロが火にあたっているのを目にすると、じっと見つめて言った。「あなたも、あいつと一緒にいた。」しかし、ペトロは「あなたが何のことを言っているのか、私にはわからないし、見当もつかない」と言った。そして、出口の方へ出て行くと、**鶏が鳴いた**。女中はペトロを見て、周りの人々に、「この人は、あの人たちの仲間です」とまた言いだした。**ペトロは、再び打ち消した。**

イエスの予告に
気づくチャンス！

予告通りに

しばらくして、今度は、居合わせた人々がペトロに言った。「確かに、お前はあの連中の仲間だ。ガリラヤの者だから。」すると、**ペトロは呪いの言葉さえ口にしながら**、「あなたがたの言っているそんな人は知らない」と誓い始めた。するとすぐ、**鶏が再び鳴いた**。ペトロは、「鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」とイエスが言われた言葉を思い出して、いきなり泣きだした。(マルコ14:66-72)

復活のイエスに出会ったペトロ

•ヨハネと共に空っぽの墓を目撃したペトロ

- マグダラのマリアの報告を聞いて墓に駆け付け、空っぽの墓と遺体を包んでいた亜麻布を見た

•復活のイエスに出会う

- 「その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言われた。そう言って、手とわき腹とをお見せになった。**弟子たちは、主を見て喜んだ。**」ヨハネ 20:19-20

ガリラヤ湖でイエスに出会う

•ガリラヤ湖の漁師に戻ったペトロ

- 「シモン・ペトロが、『わたしは漁に行く』と言うと、彼らは、『わたしたちも一緒に行こう』と言った。」ヨハネ21:3
- 「復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く」と言われた言葉に従ったからか？

•イエスとの再会

- 「イエスは言われた。『舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。』そこで、網を打ってみると、魚があまり多くて、もはや網を引き上げることができなかった。イエスの愛しておられたあの弟子がペトロに、『主だ』と言った。シモン・ペトロは『主だ』と聞くと、裸同然だったので、上着をまとして湖に飛び込んだ。」21:6-7

食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの小羊を飼いなさい」と言われた。二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの羊の世話をしなさい」と言われた。

三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。

ヨハネ福音書21:15-17

「わたしを愛しているか？」

- 最初の召命（ルカ5章）と同じ状況（同じ奇跡）
 - イエスの指示通り網を降ろすと大漁
- 「ヨハネの子シモン」と呼び掛けている
 - イエス自身がつけたニックネームを使っていない
 - ペトロの再召命
- 「わたしを愛しているか？」
 - この個所にだけ記録されている質問
- ペトロは自信なさげに「わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」答える
 - 以前のペトロであれば胸を張って「誰よりも愛しています」と答えたことだろう

• 質問と答えの違い

- イエスは“**アガペー**(無条件の愛)”で尋ねペトロは“**フィリア**(親愛の情)”で答える
- イエスは無条件に愛しているかと問うが、ペトロにそこまでの自信はない

• 「私の羊を飼いなさい」

- イエスはペトロの答えに満足して大切な役目を与える(砕かれたペトロ)

• 3度同じ質問をする

- 3度目イエスは“**フィリア**”で問うている
- 3度目の時に気づき、「悲しくなる」そして「主よ、あなたは何もかもご存じです。」と降参する

真のリーダーにするために

- 「岩」というニックネームをつけたのは彼を**作り替える約束**
 - 最後にもう一度初心に帰って再出発させる
- 失敗によってペトロの**傲慢さを打ち砕く**
 - 予告され、警告があったのにイエスを知らないと言った
3度言った
- **イエスを愛することこそ弟子の条件**
 - 失敗してもイエスのへの愛があれば大丈夫！
 - ペトロ「**赦された者たちの集まり**」である教会のリーダーにふさわしい